

《単元の指導計画》

2年社会科（歴史的分野）：全2時間

授業日時	時間数	学習内容	生徒の活動	使用教材
12月8日(木) 11:25～ 12:15	1 時間	【開国と近代 日本の歩み】 明治維新①	<ul style="list-style-type: none">・これまで学習した貨幣を使って、貨幣の意味や価値について考える。・信用される貨幣のために施された工夫を理解する。	○教科書 ○あなたと銀行のかかわり
12月12日 (月) 10:30～ 11:15 授業公開	1 時間	明治維新②	<ul style="list-style-type: none">・日本銀行券や国立銀行券からお金の特徴について理解する。	○教科書 ○あなたと銀行のかかわり

《指導案》

1 時間 12 月 8 日（木） 11:25～12:15

（1）目標

- ・これまで学習した貨幣を使って、貨幣の歴史について意欲的に学ぶことができる。
(関心・意欲・態度)
- ・貨幣が人々の生活において、どのような役割があるのかを考え、表現することができる。
(思考・判断・表現)

（2）展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導入	<p>○前時までの学習内容について、振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明開化によって、日本にどのような変化があったかを発表する。 <p>○大型TVに映し出されたもの（貨幣）が何か答える。</p>	
展開	<p style="text-align: center;">明治政府はなぜ、統一的な貨幣を作ったのだろうか</p> <p>○お金が印刷されたカードを使って、古い順番に並び替える。</p> <p>○お金の役割について、テキストブックで確認する。</p> <p>①交換手段 ②価値の尺度 ③価値の保存</p> <p>○お金はどのようにして、価値を保ってきたのか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金が含まれている ・中国の国で使われていた ・藩主が発行していた <p>○信用される貨幣にするために、どんな方法があるか考え、付箋にまとめ、4人班で意見を出し合う。</p> <p>○全体に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貨幣の原料に注目させる。 ・製造者などに注目させて考えさせる。
まとめ	<p>○本時の学習についてまとめ、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の国々に負けない国づくりのために統一した貨幣制度をつくったことに気づく。 ・外国との貿易時に、信用される貨幣を必要とした。 ・統一国家として、財政を整えるために貨幣を統一した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一貨幣が必要になった理由をまとめさせる。

（3）評価

- ・既習の貨幣から、貨幣についての歴史に関心を持つことができた。
- ・交換手段、価値の尺度などに気付き、表現することができた。

2 時間目 12 月 12 日（月）10：30～11：15

（1）目標

- ・ お金の特徴について理解する。（知識・理解）

（2）展開

指導過程	学習内容と活動	指導上の留意点
導 入	○前時の学習内容の振り返り	
展 開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">信用される貨幣になるためにどんな工夫があるのだろうか</p> <p>○明治時代の紙幣と現在の紙幣から発行者の違いに気付く。 日本銀行券・国立銀行券</p> <p>○現在の銀行の三大業務に関する映像を見る。 ・ 預金・為替・貸出 ・ 発券機能がない</p> <p>○明治時代に発行された紙幣をみて、紙のお金に価値があった理由を考える。 ・ いつでも金貨に交換してくれるから</p> <p>○人々の信用を得るために、今の紙幣にはどのような工夫があるのか、確認する。 ・ 触ってわかる ・ 透かしてわかる ・ 傾けてわかる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を配付して、4 人班で観察させる。 ・ 発券機能について明治時代の銀行との違いについて気付かせる。 ・ 紙幣を金貨に交換するためには、多くの金を保有していなくてはいけないことに気付かせる。 ・ 班に 1000 円札 1 枚を配布して、確認させる。
まとめ	○明治から現在にかけ、お金にどんな工夫があるのかまとめる。	

（3）評価

- ・ 信用されるお金であるために、政府が実施している工夫について理解することができた。